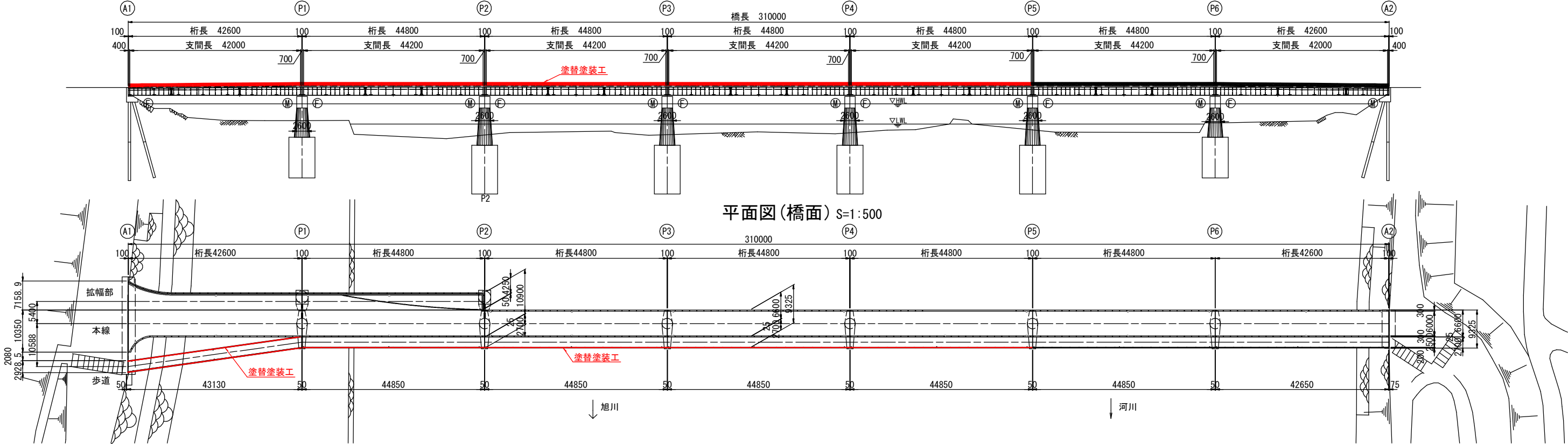
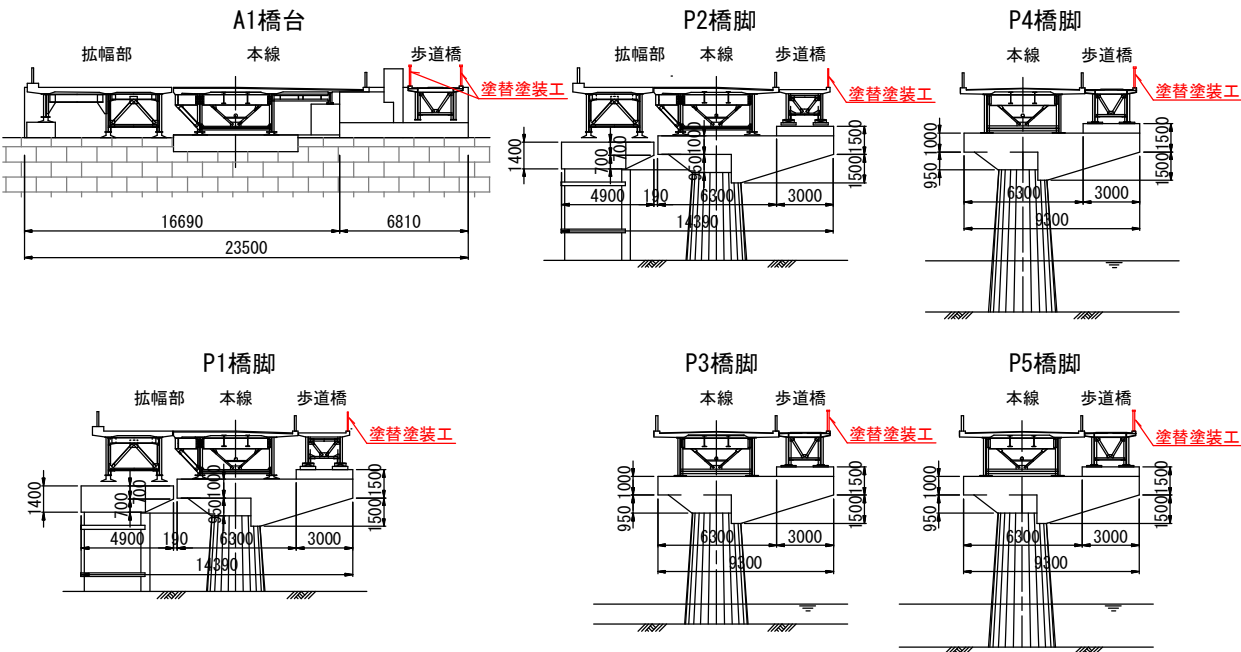


中原橋 橋梁一般図

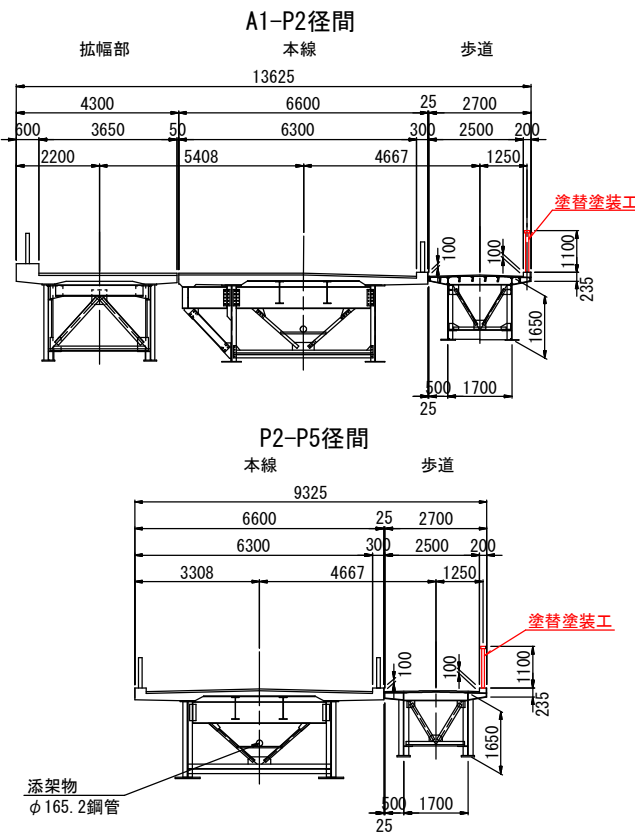
側面図 S=1/500



断面図 S=1/200



断面図 S=1:100



橋梁諸元	
橋梁名	中原橋 (側道橋)
橋種	7径間単純鋼床版桁橋
適用方書	昭和45年 立体横断施設設置要領
規格・設計荷重	群衆荷重
橋長	310.455m
桁長	43.130m+44.850m×5径間+42.650m
有効幅員	歩道 2.500m
下部工及び基礎形式	橋台：逆T式橋台
	橋脚：張出し式橋脚
	基礎形式：鋼管杭基礎 (橋台) PCウェル基礎 (橋脚)
竣工年月	昭和51年

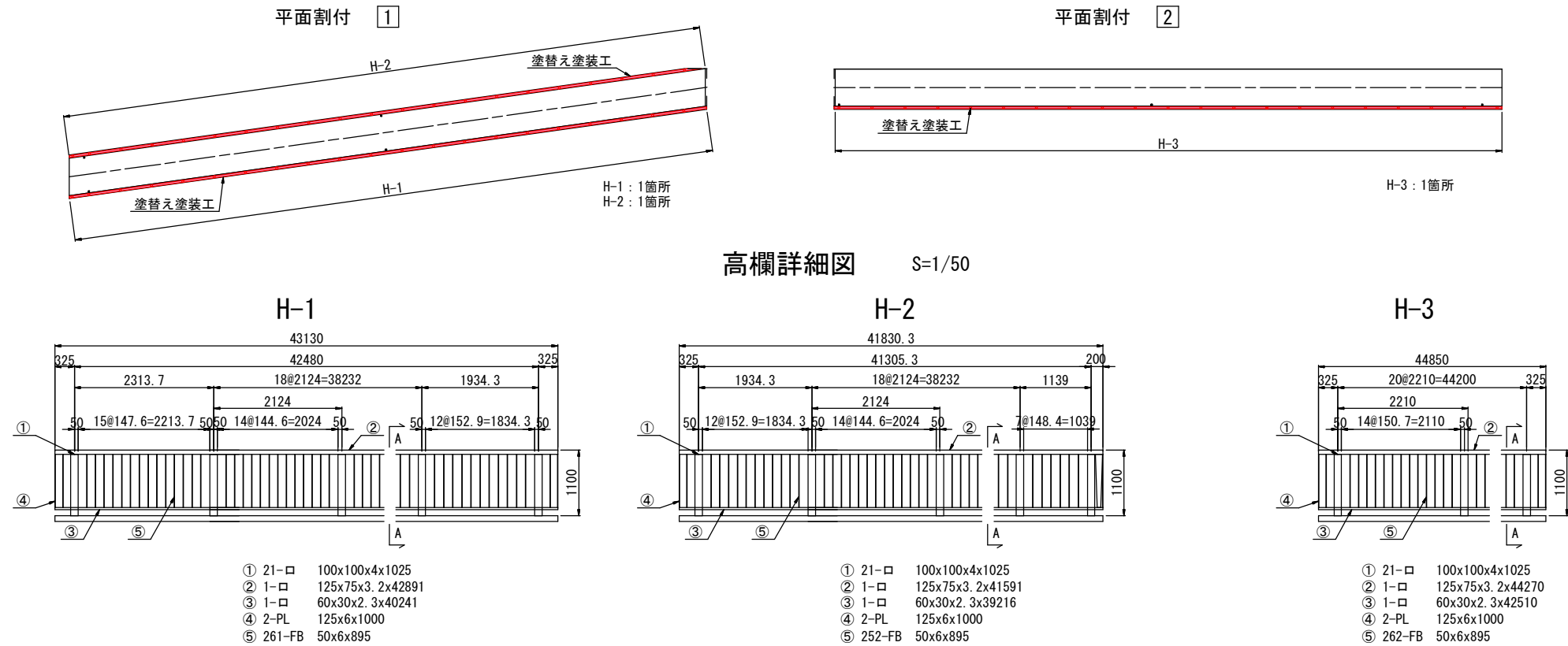
(注意事項)
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

工事名	県道原藤原線 (中原橋) 塗装補修工事 (8-1)		
図面名	中原橋 橋梁一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 3
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

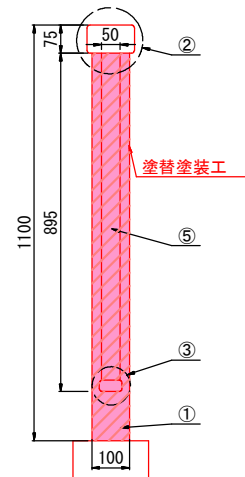
$$S=1/50$$

歩道

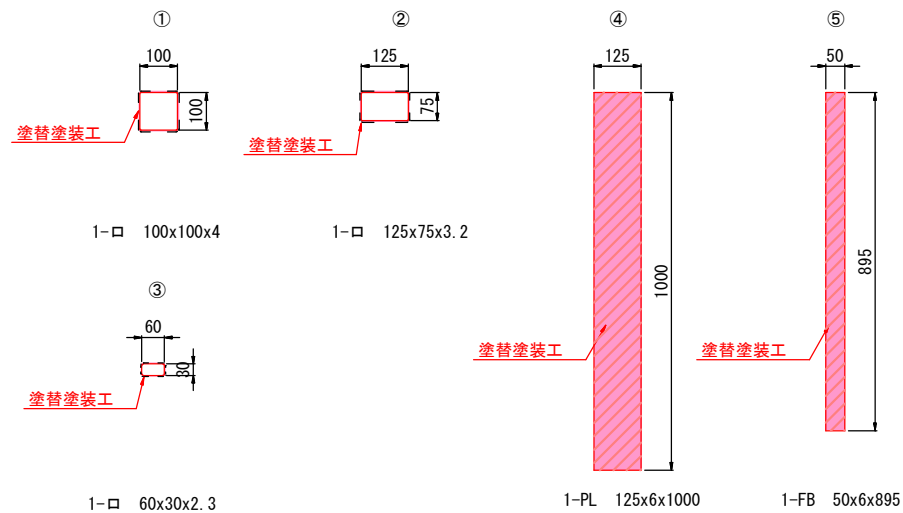
高欄平面割付図 S=1/200



A-A断面図 S=1/10



部材詳細図 S=1/10



塗替え塗装工詳細図

Rc-III系

1. 素地調整 (3種)
2. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.20kg/m²)
3. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.20kg/m²)
4. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り (0.20kg/m²)
5. 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り (0.14kg/m²)
6. 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り (0.12kg/m²)

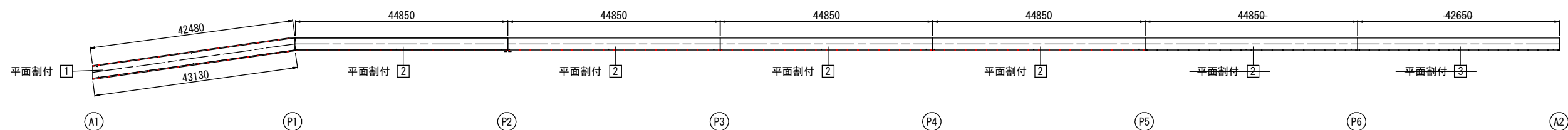
塗替え塗装工数量

種別	径間	部材	数量
Rc=Ⅲ系	A1-P5径間	防護柵	343.8 m2
素地調整	A1-P5径間	防護柵	343.8 m2

(注意事項)

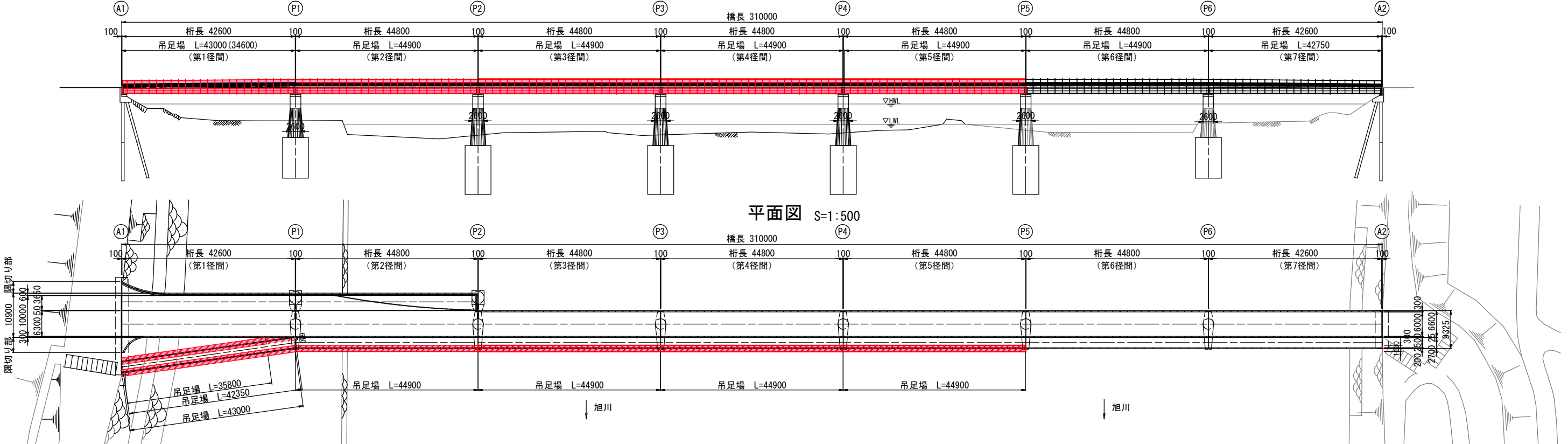
1. 本図面は、既存図面、点検調書および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

全体配置図 S=1/500



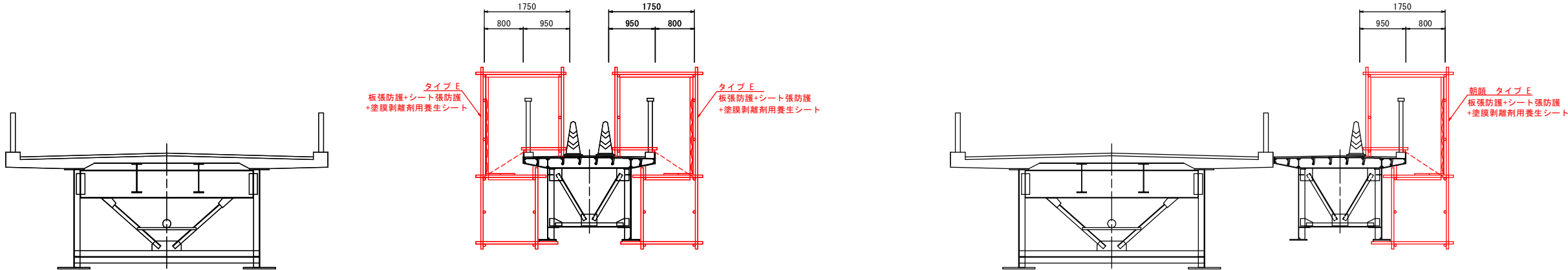
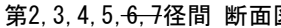
工事名	県道原藤原線（中原橋）塗装補修工事（8-1）		
図面名	中原橋 防護柵 塗替え塗装工図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

中原橋 施工計画図（参考図）



断面図 S=1:5

第1径間 断面図



足場工数量表

名 称	仕様・寸法	単位	径 間					合計 (本工事)
			第1径間	第2径間	第3径間	第4径間	第5径間	
足場工	タイプE	m2	145.69	78.58	78.58	78.58	78.58	460.01

タイプ E (板張防護+シート張防護+塗膜剥離剤用養生シート)

注記

1. 当該橋梁の塗装料は、重金属を有して河川へ流出するのを防ため、板張防蝕、塗装剤耐雨剤を投入し、十分な養生を行うこと。
2. 塗装料は人体に影響する有害物質を含有するため、各種法令に準拠し安全管理を徹底すること。
3. 塗装剤事後の塗装は、ドラム缶に封入し飛散防止対策を行い、運搬、処分すること。
4. 工事期間中は、歩行者を除き全面通行止めとする。
歩行者の安全確保に努めること。
5. 上記図は防護柵の塗装処理を現地で行うことを想定した図である。

工事名	県道原原原線（中原橋）塗装補修工事（8-1）		
図面名	中原橋 施工計画図（参考図）		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		